

## 突哨山遊歩道案内看板の内容について

「ガイドマップ部」

- ・アルファベットと数字を取りました。
- ・駐車場を赤くしました。
- ・漫画風のフキダシと矢印で道を指示しています。
- ・突哨山口を強調しています。
- ・よく見ると最新版ではないようです。  
川の位置とトイレのマーク、観察路の存在あたりが違います。

「～の下の部分」

- ・季節の写真を添えました。
- ・テキストはガイドマップから引用しました。

ガイドマップ部ですが、路傍と紙風船を残していますがどうしましょう？また、トイレなど、もっと削ってもいいのかも思いながらの現状です。それと、ガイドマップの下の部分はいかがでしょう？違う内容にしますか？このあたりとあわせて全体についてもご意見ください。

次に本メールに添付した設計図についてです。ざっくりこんな感じなのですが、問題は銘板の部分です。

1点目。

上に渡す荒々しい木の設置についてです。

チェーンソーでも厚さ 20 センチ弱、幅 20～25 センチ弱、長さ 160 センチ程度、重たすぎないくらいの材を用意できますでしょうか？

看板部は看板屋さんがつくってくれると思いますが、これについては私たちの仕事になるかと思えます。簡単なようなら「丸太」「なし」といった別案にしたいと思えます。その際は、パネルに「突哨山遊歩道」の文字を入れます。

銘板をつけるとしたら 2 点目。

文字を彫っても塗ってもたぶん日に焼けていくので文字盤(プレート)にしようと思っています。その際のものイメージなのですが、A～C とあります。これも予算の関係から決める事になるのかなと思っていますが、A がつくれるか先方と相談してみてください。鉄骨の溶接が難しければ、丸い鉄板の用意でも結構です(B)。何なら名寄でつくってくれるところを探してもみます(C)。

折り合わなければ参考までに数字をお知らせください。なお、作業としては B、C が簡単かとは思いますが。

以上ご検討ください、よろしくお願ひします。

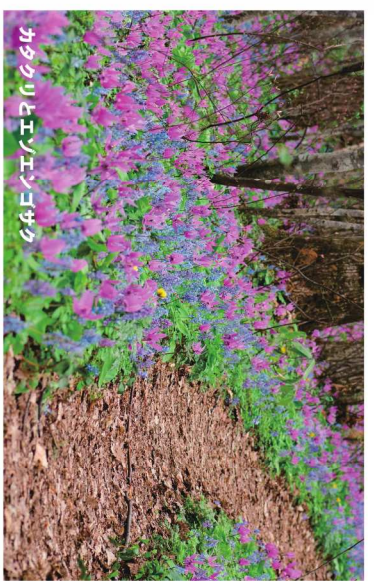
堀川 真



この看板の裏の坂道を  
登って行くと「突哨山  
口」があります

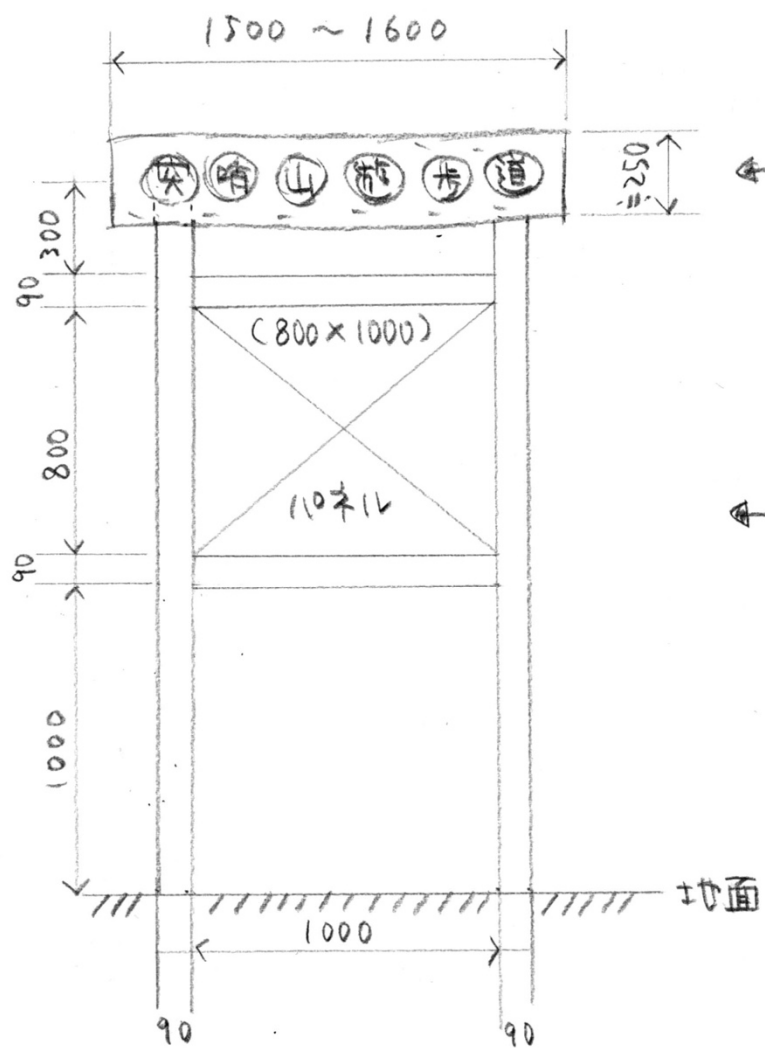


緑の半島のように突き出した突哨山には国内有数のカタクリ大群落がありますが、四季それぞれの森や個性的な草花も楽しめます。市民・町民の大切な自然ですので、動植物の採取や自転車・バイクの乗り入れ、ペットの同伴はご遠慮ください。ゴミはお持ち帰りください。



# 看板 (銘板付)

「銘板部」ナシでも  
いいけれど、いいです。

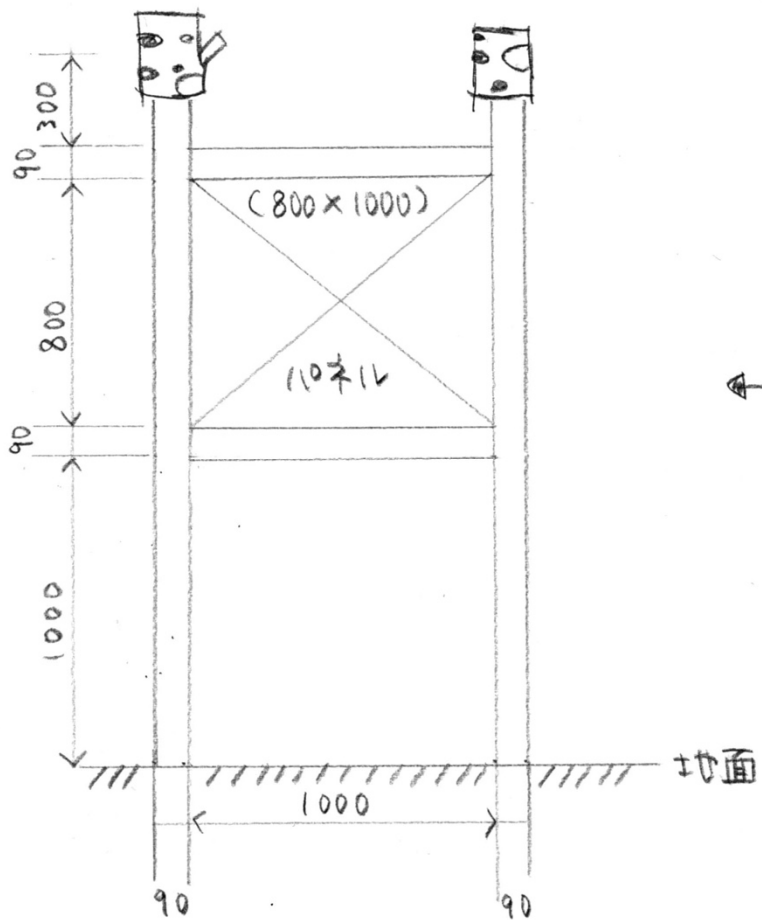
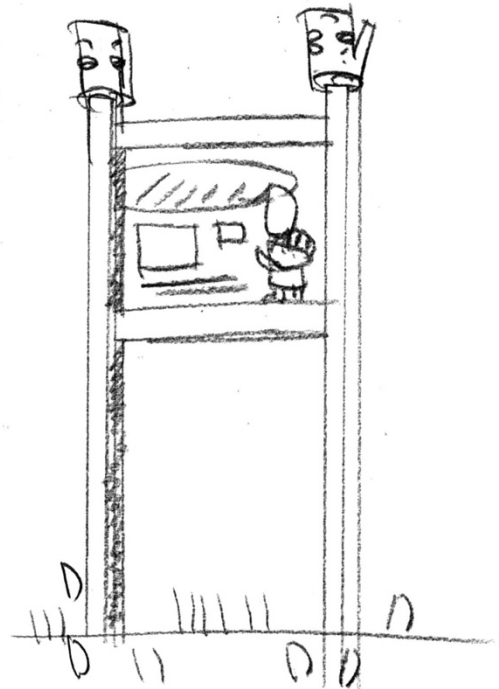


←「看板部」

# 看板 (丸太付)

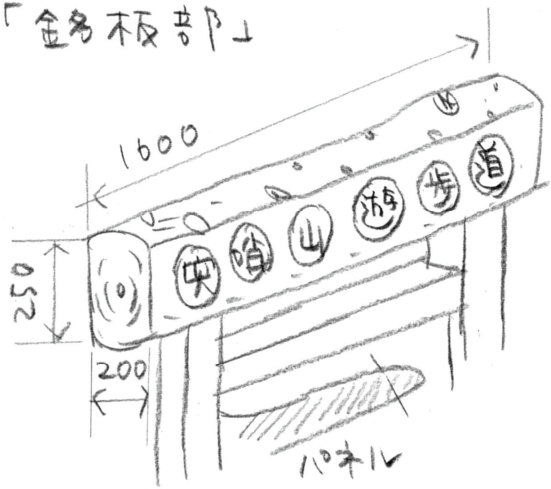


角材の上端に  
金矢骨をさしてもらって、  
輪切りの丸太をさす。  
(痛んだら交換して)

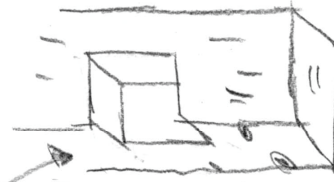


←「看板部」

「銘板部」



千エリーで丸木から  
荒く切り出した角材。  
(寸法はおおよそ)



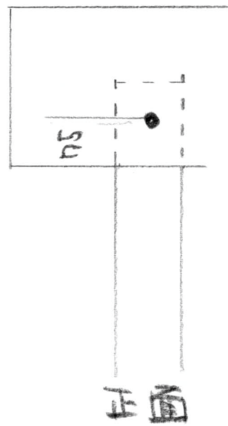
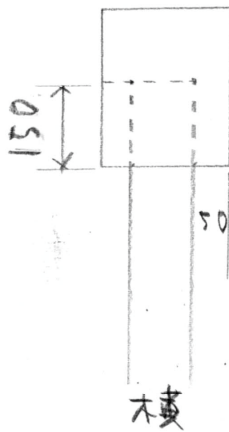
この  
① 欠きとりは  
雑でいい  
です。



② 看板部に  
ボルトを通す  
穴を開けとあき、

組み合せとから

角材にボルトの穴を  
あけます。ボルト締めの際は、  
正面のボルト穴は、ダボ  
で埋めます。

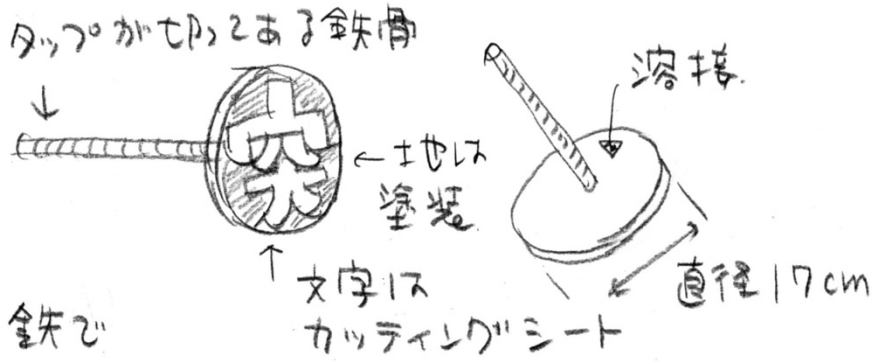


※ 銘板部は、

もり物と土留川で  
作りことに  
なすと思います。

角材の用意が同時期的にできなけ  
れば、看板を先に設置、後日組み  
あげましょう。

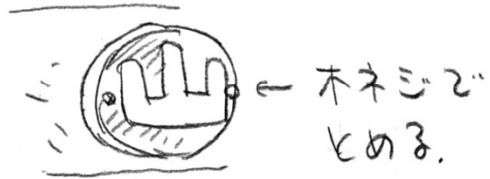
# 金名板の文字板



- A) 鉄で  
軸付きの  
円盤をつくる。  
土上げは完成。



- B) 鉄板を円形に  
切り出したものを  
あかり、土川が土上げる。



- C) 土川が名刺で発注し、  
土上げる。

